Pivot
STEPPING GAUGE

取扱説明書 (No.2)
排気温計 SG-ET

この度はPIVOT ステッピングゲージシリーズをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用の前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

特　長

●マイコン制御のステッピングモータードライブで、排気温を高精度表示します。
●高精度センサー付属。
●ワンタッチで最高数値を表示するピークホールド機能付。
●様々な場所に対応する取付スタンド&コの字ステー付属。
●見やすく球切れのないLED白色照明。明るさ調整機能付。
【オープニングデモ】キースイッチONすると、機能上（原点検出のため）、針が一定の動作をします。

セット内容

メーター本体	フレキシブルスタンド	コの字ステー	排気温センサー	フィッティングユニオンA	中玉	フィッティングナットA	ローレットナット
3Pカプラーコード	2Pカプラーコード	カットギボシ ×3	ヘキサコレンチ	六角ネジ	六角ナット	ばね座金	両面テープ ×3

・取扱説明書

各部の名称

<オモテ面>

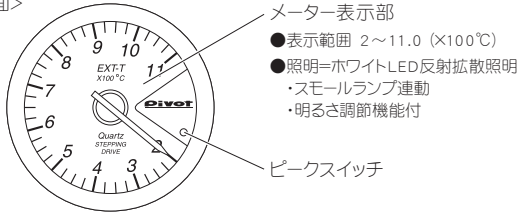
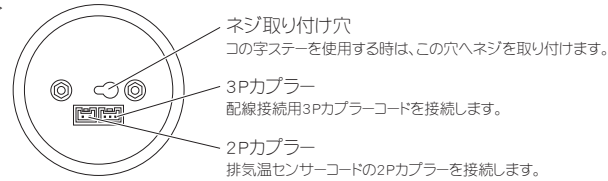
メーター表示部
●表示範囲　2～11.0（×100℃）
●照明=ホワイトLED反射拡散照明
・スモールランプ連動
・明るさ調節機能付

ピークスイッチ

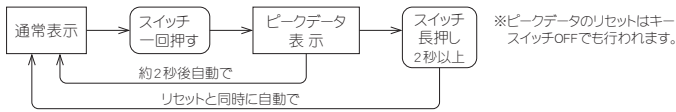
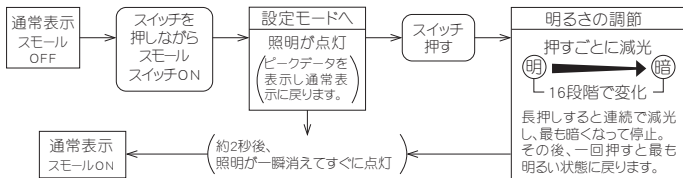
<ウラ面>

ネジ取り付け穴
コの字ステーを使用する時は、この穴へネジを取り付けます。

3Pカプラー
配線接続用3Pカプラーコードを接続します。

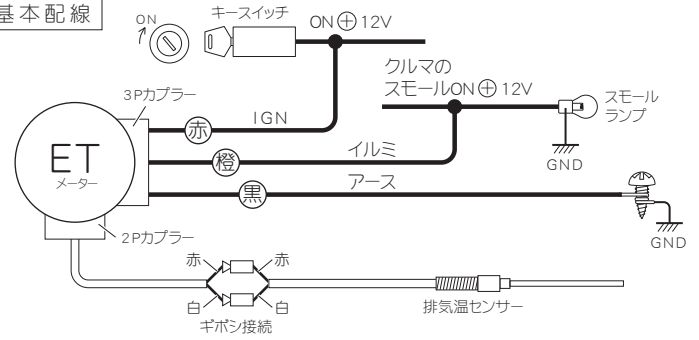
2Pカプラー
排気温センサーコードの2Pカプラーを接続します。

スイッチ操作方法

ピークデータの表示、リセット

※ピークデータのリセットはキースイッチOFFでも行われます。

照明の明るさを調節

<複数のメーターで明るさを合わせたい場合>
①基準とするメーターの明るさを決め、その明るさが何段階目かを確認します。
②確認した段階に他のメーターを合わせます。

配線接続方法

⚠注意
1. 安全作業のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。（検電時は戻す）
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線のないよう、ご注意下さい。

基本配線

■接続方法

1. 3Pカプラーコードの接続
①各コードをそれぞれ確実に接続します。
(赤)コード=キースイッチONで ⊕12Vの流れる配線（IGN）へ接続します。
(橙)コード=スモールランプスイッチONで ⊕12Vの流れる配線（イルミ）へ接続します。
(黒)コード=アースの取れる鉄板に取り付くネジ（GND）へ接続します。
②3Pカプラーは、メーターのウラへ接続します。

⚠接続時の注意　3Pカプラーを水温・油温・吸気温計・スピードメーターに接続すると故障しますのでご注意下さい。

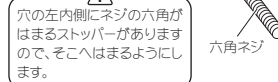
2. 2Pカプラーコードの接続
①オスギボシ側は排気温センサーのコードのメスギボシとそれぞれコードの色を合わせて確実に接続します。
②2Pカプラーはメーターのウラへ接続します。

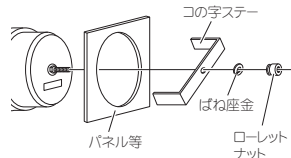
メーターの取付方法

A コの字ステーを使用する場合

パネル裏側から固定します。

1. コの字ステー用ネジの取り付け
① 付属の六角ネジの六角部分をケースウラのネジ取り付け穴へ入れ、左へスライドさせます。

⚠ 穴の左内側にネジの六角がはまるストッパーがありますので、そこへはまるようにします。

② ストッパーにはまっている状態で、付属の六角ナットを使用して固定します。

2. メーターの取り付け
① 取り付けたいパネルのオモテ側から、メーターを差し込みます。
② ウラ側で、取り付けたネジへコの字ステーをはめ込み、ばね座金とローレットナットで確実に締め込んで固定します。

B フレキシブルスタンドを使用する場合

ある程度の強度のある場所へ両面テープを使用して固定します。
（コラムカバー上、ダッシュ上等）

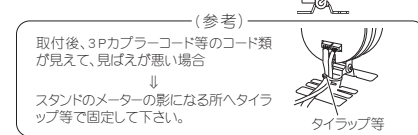
1. フレキシブルスタンドの取り付け
① スタンドのホルダーバンド部へメーターを差し込みます。
注、差し込めない場合は、六角穴付ネジを多少ゆるめてバンドを広げて下さい。
ホルダーバンド部
六角穴付ネジ
② バンド部へメーターが差し込めたら、六角穴付ネジを多少締めて仮固定状態にします。

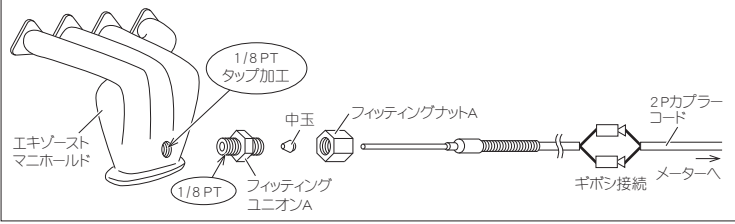
2. クルマへの取り付け
① メーターの取付場所を決めます。
② 決めた場所にピッタリ付くようにスタンドを曲げます。
③ 決めた場所の油分や汚れ等を確実にキレイにします。
④ 両面テープにて貼り付けます。

両面テープ
汚れ・油分をキレイにする。

⚠ 両面テープは貼り直ししないよう、場所や状態をよく確認の上、貼り付けて下さい。

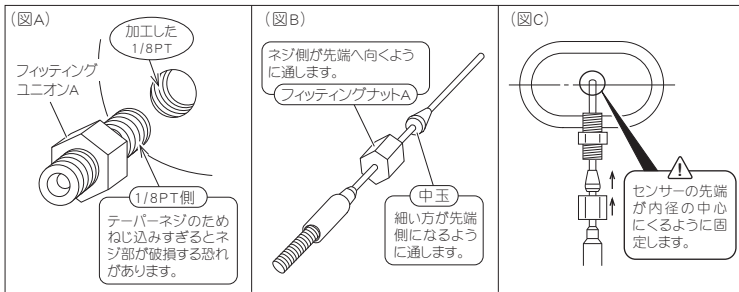
⑤ メーターの首振り角度を決め、六角穴付ネジを両側とも確実に締め込んで固定します。

（参考）
取付後、3Pカプラーコード等のコード類が見えて、見ばえが悪い場合
⇓
スタンドのメーターの影になる所へタイラップ等で固定して下さい。

センサーの取付方法

基本取付図

■取付手順

⚠取付時のご注意

1. エキゾーストマニホールドの脱着は、各車種の整備要領に従い確実に作業して下さい。
2. 脱着はマニホールドが充分に冷えてから行い、火傷等をしないよう、ご注意下さい。

①エキゾーストマニホールドを外します。
②排気温を測定する位置を決め、1/8PTのタップ加工をします。
③加工したネジ部へフィッティングユニオンAを取り付けます。(図A)
④排気温センサーの先端からフィッティングナットAと中玉を通しておきます。(図B)
⑤センサーの先端がエキゾーストマニホールドの内径の中心に来るようにし、フィッティングナットAを締め込んで固定します。(図C)
⑥エキゾーストマニホールドを取り付けます。
⑦センサーコードを引き回し、先端のギボシはコードの色を合わせて2Pカプラーコードとギボシ接続します。

故障と思われる前に

※修理依頼なさる前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因	対策
キースイッチONでオープニングデモ動作しない。	●赤、黒コードの接続又は接触不良。	各コードの接続状態を確認する。
表示が変化しない。	●排気温センサーの接続不良。 ●2Pカプラーコードの接続不良。	各箇所の接続状態を確認する。
スモールONにしてもメーターの照明が点灯しない。	●橙コードの接続又は接触不良。	橙コードの接続状態を確認する。
	●照明調節が最も暗くなっている。	照明の明るさ調節を行う。
照明の色が他のメーターと多少異なる。	照明用LED自体のバラツキのため、故障ではありません。 また、完全な同色にはできませんのでご了承下さい。	
キーOFF時の位置で針が止まる。	ステッピングモーターの特性上で故障ではありません。 キースイッチON(エンジン停止)でオープニングデモ後に適正な温度(200℃以下の場合は200℃)を表示すれば正常です。	

カットギボシの使用方法

※半田付けができる場合は半田付けを行って下さい。

1. 接続するコードの被ふくを10mm位むく。
2. 接続したいコードの被ふくの先端を10mm位むく。
3. 被ふくをむいた箇所をしっかりからめる。
4. 確実にかしめる。

※かしめには圧着工具を使用し、工具がない場合はペンチ等で折りたたむようにしっかりかしめて下さい。
※かしめ後は、ビニールテープ等で確実に絶縁をして下さい。

株式会社ピボット　〒390-0313 長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901(代)